

短期大学の使命と図書館:第三者評価結果による分析

山下樹子(慶應義塾大学大学院)

motoko-yamashita.a3@keio.jp

1. 研究の背景と目的

短期大学(以下短大)の事務組織は縮小が進んでおり、短大経営の危機的状況からも部門にこだわった仕事をしている状況ではない。しかしながらこのことは、図書館にとっては仕事の範囲を拡大し存在感を強める好機と捉えることができるのではないだろうか。図書館の機能・役割を従来の範囲に限定せず、設置母体(短大)が重点を置く機能により深く関わる方向へ拡大するために、短大が重点を置く機能と図書館の関わり(成果の有無)の実態を把握し、強みと弱みを明らかにすることを研究目的とする。

2. 調査概要

組織が重点を置く機能とは経営目標の達成に直接的に関わる部分である。短大では使命が経営目標に該当する。使命を達成するために実行され成果が認められた事業(取り組み)を対象とし、図書館と図書館以外の関わりを比較することにより、短大の使命達成に関わる図書館の強みと弱みを調査する。調査結果は、使命の方向性、短大規模、短大分野、併設大学有無を切り口として分析する。使命達成のために実行され成果が認められた事業は、全ての短大に義務付けられている認証評価機関による第三者評価の結果の中で「評価の高い事項(特記事項)」とする。

2.1 調査対象

平成17年から23年度の7年間(一巡目)を一つの区切りとみなし、その間に一般財団法人短期大学基準協会(以下基準協会)で実施された328校の認証評価結果を調査対象とする。

2.2 調査方法

「評価が高い事項」と「成果と認められた事項」の傾向を把握するという目的のため、公表されてい

る評価結果報告書を元に、特記事項(評価の高い事項)の抽出、事項を分類する項目の設定、事項の記載内容の分類という手順により分析を行った。事項を分類する項目の設定は、文部科学省が平成22年に実施した「短期大学教育の改善等の状況に関する調査」¹⁾に使用された29の項目を基本とし不足を補い39項目を設定した。事項の記載内容の分類は、原則として1内容につき1分類、内容が多岐にわたる場合は複数に分類した。

3. 調査結果

3.1 特記事項の分類結果

基準協会による331回分の評価結果より特記事項「特に優れた試みと評価できる事項」2204点を抽出した。その記載内容は39項目に3157件分類された(第1表)。図書館関係の記載内容を抽出したところ92点が該当し、39項目に122件分類された。全体の結果から図書館関係として分類されたものを除いた分を「図書館関係以外」としている。

全体の傾向をみると、図書館関係と図書館関係以外の比率の差が最も大きい項目は「1 学習支援・履修支援」であり図書館の比率が40%以上高い。図書館関係の比率が5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」である。図書館関係では、1件も該当しない項目が26項目あった。うち全体の結果でも1.0%未満を示したものは、「5 留学生支援」「6 社会人学生支援」「11 少人数教育」「15 GP A制度の導入」の4項目である。図書館関係の比率が0%でかつ図書館関係以外の比率が5%以上を示した項目は「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「21 大学運営体制の整備・改善」である。

第1表 評価の高い事項による分類結果

評価の高い事項内容(項目)	全体		図書館関係		図書館関係以外	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1 学習支援・履修支援	411	13.0%	67	54.9%	344	11.3%
2 生活支援	131	4.1%	1	0.8%	130	4.3%
3 キャリア教育・進路支援	218	6.9%	2	1.6%	216	7.1%
4 経済的支援	57	1.8%	0	0.0%	57	1.9%
5 留学生支援	20	0.6%	0	0.0%	20	0.7%
6 社会人学生支援	15	0.5%	0	0.0%	15	0.5%
7 障害者支援	22	0.7%	0	0.0%	22	0.7%
8 シラバス・学生便覧の充実	40	1.3%	1	0.8%	39	1.3%
9 カリキュラム改革	177	5.6%	0	0.0%	177	5.8%
10 カリキュラム上の多様な配慮	109	3.5%	0	0.0%	109	3.6%
11 少人数教育	21	0.7%	0	0.0%	21	0.7%
12 外国語教育における特色ある取り組み	31	1.0%	0	0.0%	31	1.0%
13 社会人等の学生以外の者を対象とした教育課程の提供	30	1.0%	0	0.0%	30	1.0%
14 単位互換	15	0.5%	0	0.0%	15	0.5%
15 GPA制度の導入	5	0.2%	0	0.0%	5	0.2%
16 FD実施	169	5.4%	0	0.0%	169	5.6%
17 SD実施	41	1.3%	0	0.0%	41	1.4%
18 評価の実施	150	4.8%	0	0.0%	150	4.9%
19 情報提供	63	2.0%	2	1.6%	61	2.0%
20 目的や方針の明確化と公表	146	4.6%	1	0.8%	145	4.8%
21 大学運営体制の整備・改善	173	5.5%	0	0.0%	173	5.7%
22 環境への配慮	52	1.6%	0	0.0%	52	1.7%
23 ボランティア活動・課外活動支援	116	3.7%	12	9.8%	104	3.4%
24 研究支援	125	4.0%	0	0.0%	125	4.1%
25 外部資金導入・事業採択	113	3.6%	3	2.5%	110	3.6%
26 国際交流・海外派遣	56	1.8%	0	0.0%	56	1.8%
27 卒業生支援・同窓会連携	53	1.7%	2	1.6%	51	1.7%
28 公開講座	71	2.2%	0	0.0%	71	2.3%
29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組	281	8.9%	19	15.6%	262	8.6%
30【成果・結果】就職状況	75	2.4%	0	0.0%	75	2.5%
31【成果・結果】免許・資格・称号取得状況	29	0.9%	0	0.0%	29	1.0%
32【成果・結果】外部評価状況	12	0.4%	1	0.8%	11	0.4%
33【成果・結果】学生・卒業生満足度	12	0.4%	0	0.0%	12	0.4%
34【成果・結果】退学・休学・留年状況	28	0.9%	0	0.0%	28	0.9%
35【成果・結果】表彰	9	0.3%	0	0.0%	9	0.3%
36【成果・結果】施設・設備利用状況	10	0.3%	8	6.6%	2	0.1%
37【成果・結果】研究業績	22	0.7%	0	0.0%	22	0.7%
38【成果・結果】財務状況	17	0.5%	0	0.0%	17	0.6%
39【成果・結果】その他	32	1.0%	3	2.5%	29	1.0%
	3157	100.0%	122	100.0%	3035	100.0%

3.2 短大使命の方向性から見た結果

各短大の使命の方向性による傾向を調べるため、調査対象短大のうち学則から使命を確認することができた短大 230 校を、中央教育審議会による「短期大学の今後の在り方について(審議まとめ)」²⁾に示されている4点の「短期大学の機能・役割」に従い、使命の内容により分類した(第2表)。

第2表 短大使命別 集計数

「使命」分類	全体		図書館のみ		図書館以外	
	短大数 (のべ)	分類件数 (のべ)	短大数 (のべ)	分類件数 (のべ)	短大数 (のべ)	分類件数 (のべ)
①社会基盤の維持・向上を担う職業人材の養成～専門職業人材の養成～	54	527	19	26	54	501
②地域に密着した高等教育機関としての活用～地域コミュニティの基盤となる人材の養成～	37	403	10	18	37	385
③高等教育のファーストステージとしての期待と可能性～知識基盤社会に対応した教養的要素を有する人材の養成～	190	1876	53	72	190	1804
④生涯学習機能の充実～多様な生涯学習の機会の提供～	1	13	1	1	1	12
	282	2819	83	117	282	2702

使命は1内容につき1分類、内容が多岐にわたる場合は複数に分類した。その結果、③の使命が最も多く190校、④の使命が最も少なく1校該当し、使命の方向性に偏りがみられた。そのため、本調査では使命④に関する結果は分析対象から除外することとする。

第3表 短大使命別の結果

評価の高い事項内容(項目)	使命①				使命②				使命③			
	図書館関係 10校 11点		図書館関係以外 5校 170点		図書館関係 10校 11点		図書館関係以外 17校 195点		図書館関係 53校 55点項目		図書館関係以外 10校 100点	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
学習支援・履修支援	16	91.5%	83	12.0%	9	30.0%	47	12.3%	38	32.0%	207	11.5%
生活支援	1	3.0%	29	3.2%	0	0.0%	19	4.9%	1	1.4%	82	4.5%
キャリア教育・進路支援	0	0.0%	28	3.6%	0	0.0%	27	7.0%	1	1.4%	120	6.7%
経済的支援	0	0.0%	9	1.0%	0	0.0%	7	1.8%	0	0.0%	34	1.9%
留学生支援	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	10	0.6%
社会人学生支援	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	6	0.3%
障害者支援	0	0.0%	3	0.4%	0	0.0%	4	1.0%	0	0.0%	10	0.6%
シラバス・学生便覧の充実	0	0.0%	11	1.2%	0	0.0%	5	1.3%	0	0.0%	23	1.3%
カリキュラム改革	0	0.0%	23	2.6%	0	0.0%	22	5.7%	0	0.0%	112	6.2%
カリキュラム上の多様な配慮	0	0.0%	20	2.0%	0	0.0%	15	3.9%	0	0.0%	62	3.4%
少人数教育	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	4	1.0%	0	0.0%	10	0.6%
外国語教育における特色ある取り組み	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	18	1.0%
社会人等の学生以外の者を対象とした教育課程の提供	0	0.0%	3	0.3%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	18	1.0%
単位互換	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	14	0.8%
GPA制度の導入	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.2%
FD実施	0	0.0%	28	3.6%	0	0.0%	22	5.7%	0	0.0%	100	5.5%
SD実施	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	7	1.8%	0	0.0%	27	1.5%
評価の実施	0	0.0%	23	2.6%	0	0.0%	15	3.9%	0	0.0%	92	5.1%
情報提供	1	3.0%	13	1.4%	1	3.0%	9	2.3%	2	2.8%	37	2.1%
目的や方針の明確化と公表	0	0.0%	23	2.6%	0	0.0%	14	3.6%	1	1.4%	88	4.9%
大学運営体制の整備・改善	0	0.0%	33	3.6%	0	0.0%	23	6.0%	0	0.0%	92	5.1%
環境への配慮	0	0.0%	7	0.8%	0	0.0%	5	1.3%	0	0.0%	30	1.7%
ボランティア活動・課外活動支援	0	0.0%	17	1.9%	1	3.0%	13	3.4%	7	9.7%	63	3.5%
研究支援	0	0.0%	14	1.6%	0	0.0%	16	4.2%	0	0.0%	88	4.9%
外部資金導入・事業採択	0	0.0%	23	2.6%	1	3.0%	12	3.1%	2	2.8%	65	3.6%
国際交流・海外派遣	0	0.0%	8	0.9%	0	0.0%	5	1.3%	0	0.0%	30	1.7%
卒業生支援・同窓会連携	4	7.7%	13	1.4%	2	11.5%	8	2.1%	2	2.8%	30	1.7%
公開講座	0	0.0%	12	1.4%	0	0.0%	10	2.6%	0	0.0%	42	2.3%
地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組	3	18.2%	38	4.2%	4	22.1%	33	8.6%	9	12.5%	155	8.6%
【成果・結果】就職状況	0	0.0%	13	1.4%	0	0.0%	13	3.4%	0	0.0%	41	2.3%
【成果・結果】免許・資格・称号取得状況	0	0.0%	3	0.3%	0	0.0%	6	1.6%	0	0.0%	14	0.8%
【成果・結果】外部評価状況	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	11	0.6%
【成果・結果】学生・卒業生満足度	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	8	0.4%
【成果・結果】退学・休学・留年状況	0	0.0%	7	0.8%	0	0.0%	3	0.8%	0	0.0%	16	0.9%
【成果・結果】表彰	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	3	0.2%
【成果・結果】施設・設備利用状況	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	8.3%	1	0.1%
【成果・結果】研究業績	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	10	0.6%
【成果・結果】財務状況	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	13	0.7%
【成果・結果】その他	0	0.0%	6	0.7%	0	0.0%	6	1.6%	2	2.8%	16	1.0%
	26	100.0%	501	100.0%	18	100.0%	385	100.0%	72	100.0%	1804	100.0%

短大使命①から③の図書館関係と図書館関係以外を比較した結果が第3表である。図書館関係と図書館関係以外の比率の差が最も大きい項目は使命①から③に共通して「1 学習支援・履修支援」であり図書館の比率が高い。使命①において図書館関係の比率が5%以上高い項目は「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「27 卒業生支援・同窓会連携」であり、図書館関

係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「3 キャリア教育・進路支援」「16 FD実施」「18 評価の実施」「21 大学運営体制の整備・改善」「25 外部資金導入・事業採択」である。使命②において図書館関係の比率が 5%以上高い項目は「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」であり、図書館関係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「3 キャリア教育・進路支援」「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」である。使命③において図書館関係の比率が 5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「36 施設・設備利用状況」であり、図書館関係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「18 評価の実施」「21 大学運営体制の整備・改善」である。

3.3 短大の規模別結果

短大の規模別の傾向を調べるため、調査対象短大を入学定員により「A」400人以上、「B」200人以上400人未満、「C」200人未満と設定し分類した(第4表)。

第4表 短大規模別 集計数

入学定員	全体		図書館関係		図書館関係以外	
	短大数	分類件数	短大数	分類件数	短大数	分類件数
A 400人以上	33	335	8	13	33	322
B 200人以上400人未満	149	1507	41	54	149	1453
C 200人未満	146	1315	40	55	146	1260
	328	3157	89	122	328	3035

短大規模「B」と「C」の図書館関係と図書館関係以外を比較した。図書館関係と図書館関係以外の比率の差が最も大きい項目は「B」「C」ともに「1 学習支援・履修支援」であり図書館の比率が高い。「B」において図書館関係の比率が5%以上高い項目は「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」であり、図書館関係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「3 キャリア教育・進路支援」「9 カリキュラム改革」「16 F

D実施」「18 評価の実施」「21 大学運営体制の整備・改善」である。「C」において図書館関係の比率が 5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」であり、図書館関係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「20 目的や方針の明確化と公表」「21 大学運営体制の整備・改善」である。

3.4 短大の学科別結果

短大の学科別の傾向を調べるため、調査対象短大のうち単科短大 141 校を文部科学省による「学科系統分類表」をもとに学科別に分類した(第5表)。

第5表 短大学科別 集計数

学科	全体		図書館関係		図書館関係以外	
	短大数	分類件数	短大数	分類件数	短大数	分類件数
人文	15	131	7	11	15	120
社会	20	192	4	9	20	183
教養	3	28	0	0	3	28
工業	10	94	1	1	10	93
農業	3	29	0	0	3	29
保健	13	127	4	5	13	122
家政	22	172	4	4	22	168
教育	38	356	12	15	38	341
芸術	10	118	3	3	10	115
その他	7	60	1	1	7	59
	141	1307	36	49	141	1258

「人文」と「教育」の図書館関係と図書館関係以外を比較した。図書館関係と図書館関係以外の比率の差が最も大きい項目は「人文」「教育」とともに「1 学習支援・履修支援」であり図書館の比率が高い。「人文」において図書館関係の比率が 5%以上高い項目は「36 施設・設備利用状況」「25 外部資金導入・事業採択」「39 その他」であり、図書館関係の比率が 0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項目は「2 生活支援」「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「18 評価の実施」「21 大学運営体制の整備・改善」「23 ボランティア活動・課外活動支援」「24 研究支援」である。「教育」において図書館関係の比率が 5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「39その他」であり、図書館関係の比率が0%でかつ図書館関係以外の比率が 5%以上を示した項

目は「3 キャリア教育・進路支援」「16 FD実施」「20 目的や方針の明確化と公表」「21 大学運営体制の整備・改善」「24 研究支援」である。

3.5 四年制大学併設有無による結果

四年制大学に併設された短大と独立した短大の傾向を調べるため、調査対象短大を併設の有無により分類した。併設有りは150校、併設無しは178校であった(第6表)。

第6表 四年制大学併設有無別 集計数

四大併設	全体		図書館関係		図書館関係以外	
	短大数	分類件数	短大数	分類件数	短大数	分類件数
有り	150	1491	50	68	150	1423
無し	178	1666	39	54	178	1612
	328	3157	89	122	328	3035

「併設有り」と「併設無し」の図書館関係と図書館関係以外を比較した結果が第14表である。「併設有り」「併設無し」ともに、図書館関係と図書館関係以外の比率の差が最も大きい項目は「1 学習支援・履修支援」であり図書館関係の比率が高い。「併設有り」が51.5%、「併設無し」が59.3%で7.8%の差があるが、図書館関係以外の結果ではこの差は0.1%であることから、「併設無し」の短大図書館の特徴と見られる。

「併設有り」において図書館関係の比率が5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」であり、図書館関係の比率が0%でかつ図書館関係以外の比率が5%以上を示した項目は「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「18 評価の実施」「21 大学運営体制の整備・改善」である。「併設無し」において図書館関係の比率が5%以上高い項目は「23 ボランティア活動・課外活動支援」「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」であり、図書館関係の比率が0%でかつ図書館関係以外の比率が5%以上を示した項目は「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「21 大学運営体制の整備・改善」である。

4. 調査結果の分析

「評価の高い事項」の図書館の比率の相対的な高さを図書館の強みとすると、「1 学習支援・履修支援」「23 ボランティア活動・課外活動支援」「29 地域貢献・地域の学習ニーズに応えるための取組」「36 施設・設備利用状況」が該当する。他に短大の特徴により強みとして浮かび上がった項目もあった。図書館の件数が0件であり、図書館以外の比率が相対的に高い項目を図書館の弱みとすると、「9 カリキュラム改革」「16 FD実施」「21 大学運営体制の整備・改善」が該当する。

5. 考察

地域指向の短大が評価される傾向が見られる一方、社会人学生、留学生に対する支援などがあまり評価されていない実態が明らかとなった。多様な生涯学習機会の提供を使命とする短大の少なさからも、大学との住み分けとして期待されている短大の役割と現実のずれがある。図書館はこの部分に参入することで存在感を増す可能性があると考えられる。図書館の強みとして地域の学習ニーズに応えるための取り組みや施設・設備の利用に関する点、があることが明らかとなった。これらは生涯学習機会の提供に関わってくる部分であり、十分可能性はあると考えられる。

【注・引用文献】

- 1) 文部科学省.“短期大学教育の改善等の状況に関する調査について” [2015/10/25], <http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/tandai/1312298.htm>.
- 2) 中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ.“短期大学の今後の在り方について(審議まとめ)”. [2015/10/25], <http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afldfile/2014/09/19/1351965_1.pdf>